

通信 S O R A

住宅工房 S O R A とお客様を結ぶコミュニケーション情報誌

2008 9 月号

ベーシックホーム。大地に住み着く家

SORA 住宅工房空

〒979-1521 福島県双葉郡浪江町権現堂字町頭15
TEL (0240)34-6125 FAX (0240)34-6126
田中建設工業 株式会社
<http://www.ta-na-ka.co.jp>

社長のひとりごと

保険の事業を始めてみていろいろとわかったことがあります。ひとつは生命保険は相互扶助の理念によって助け合う仕組みだということ、また、無くてはならない物でライフステージの変化により見直しが必要だということです。「一人は皆のために、皆は一人のために」あるのです。今では規制緩和により取り扱う窓口も増え、数社の保険を扱うという形になっています。若い方はネットで調べ比較し、来店型ショップで確認して保険に入るといいうようになってきました。万人が同じ保険に入っていればいいというものではなく、それぞれの事情に合わせて必要な保障を得ることが重要です。このことはみなさんご存じのことと思います。しかし、一部大手の日本の生保ではいまだに保険会社の都合のいいものを保険会社の都合のいい形で販売しています。テレビコマーシャルでは「お客様に合った保険をお勧めします」とか言っていますが、実態は旧態依然のようです。先日、知り合いのセールスレディさんから内情を聞いて驚いてしまいました。弊社のライフサロンでは、すでに他社の保険に入っている方でも無料で相談を受けたまわっております。それによって保険に入らなければならないということはありませんので、お気軽にご相談ください。

代表取締役 田中 昭弘



手織り・草木染
うさとの服展

あいをよる
おもいをつむぐ
こころをむすぶ

タイの女性たちがまごころを込めて
一着一着手作りした手紡ぎ・手織り・草木染めの服。うさと
身につければ心地よく、きつと何かが伝わるはず...

Usato



さとう うさぶろう

日本で服飾デザイナーを経験後、欧米でオートクチュール等の創作活動を行う。その後、いのちのエネルギーがある本物の素材を求めて世界を旅しタイ・チェンマイに行きつく。手織り、手紡ぎ、草木染めなど、タイの伝統的な手仕事の布を素材にした服をデザイン・製作している。



いよいよ開催！ うさと展

9月27日(土)～29日(月)
11:00～17:00 ギャラリー空

～光をまとぶ 心をまとぶ～

赤ちゃんにも着せたい自然素材。
「いのち」を感じる服。

今、多くの方が自然食とか、オーガニックの食べ物を取り入れていらっしゃるでしょう？そういう人は皮膚呼吸が活発になると思っています。多くの現代人はそれを忘れてるんです。服も同じです。(うさぶろう)

自然の恵みをそのまま活かした"うさと"の服は、タイの多くの人々の手を通して作られています。綿、ヘンプ(大麻)、蚕を育て、それらを紡ぎ、撚り、糸にする。

その糸を草木で染め、素朴な織機で布を織り、その布がうさぶろうのデザインにより服となります。素材を吟味し、時間をかけながら心を込めて作られたものには、自然の命が感じられます。

本物の自然素材。身体がよるこぶ"うさと"の服をぜひご体験ください。

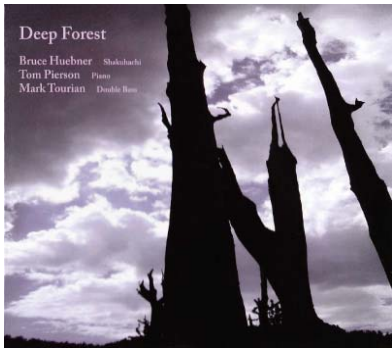
あいをよる

おもいをつむぐ

こころをむすぶ

この通信は、これまでご縁のあった方々にお届けしています。
中止のお申し出がない限りこちらの一存でお送りしますが、一年以上音信のない方には、その後ご連絡があるまで休止させていただきます。

Duo Live in Yonomori (カート&ブルース)



今年で3年目となるデュオコンサートを9月27日(土)午後6時からギャラリー空で開催します。今年は「うさと展」と同時開催します。2008年桜前線ツアーでは、天使の歌声とも言うべきボーカリスト、スーザン・オズボーンとコラボレーションを果たしました。8月にはスーザン・オズボーンさんの住むワシントン州オカス島で録音を行いました。カート&ブルース with スーザン・オズボーン Trio の初録音です。

「うさと」との出会いはスーザン・オズボーンさんからの紹介でした。彼女は以前から愛用していて、カート&ブルースも彼女から勧められ着てみてすっかり気に入って、コンサートでもステージ衣装として愛用しているそうです。そんなお二人からのご紹介により「うさと展」を開催することになりました。市販されていませんので、ぜひこの機会にご覧になって下さい。

・・・Zabutone Music 新作品発表 [3/30に新CD2枚を発表しました]・・・

一枚はブルースの尺八とカートの箏で『風紋』"Tracings" というタイトル。もう一枚はピアニストのTom Piersonとカンデラの一員のベースのMark Tourianと尺八で"Deep Forest" となります。録音は秩父ミュージックパークホールにてLive to Stereoでした。Andy BevanがEngineerで、Designは坂井忠平でした。ぜひ聴いて下さい！



昨年出したGoing Homeに関する記事をご紹介します。

稲の苗を植えたばかりの水田が一面に広がるジャケット写真。そこにGoing Home (= 帰郷)の文字。この感性・・・日本人の命を養う米の大切さを理解していると思ったら音を聴く前に安心してしまった。日本に暮らす箏のパターンと尺八のヒューバナー。このアルバムは全編二人の箏と尺八だけだ。音は控えめでハツタリが全くない。曲も演奏も押しつけがましいところが無い様は、自然そのものといった感じで再び安心する。こんなに静かで明るい、光りのような音楽は日本人が演奏する邦楽器からはなかなか生まれにくい。案外日本人は邦楽器を“自然に”持てない。持つと主張してしまうのだ。心意気や血を・・・彼らの作る曲は日本の旋法にこだわっていない。時に西洋的であるのに、尺八と箏でなければいけない音楽になっているのは興味深い。ソフトな音の粒を連ねる箏は和琴のように響き、シンプルなメロディーは尺八の自由な装飾音をもって完成する。二者の相性絶妙で、他の楽器の音でこれらの曲が演奏されるのはちょっとイメージできない。要するに楽器の性質、性能から自然に生まれた音楽なのである。彼らの『春の海』は、聴き慣れた宮城会奏法と違って新鮮。素朴この上ない演奏を聴きながらつくづく、人には魂のふるさとというのがあるのかな、と思った。

滝沢成実 (邦楽ジャーナル2007年7月号、CD Review)

バス見学会(いわき 夜ノ森 浪江)のお知らせ!!

「ここが良かった」「こうすれば良かった」など、
住んでる人に聞いてみよう!

実際に住まわれている住まい手の生の声と、暮らしのようすに触れられる「バス見学会」を開催します。ソーラーシステムの働きや、その土地、そのご家族にあった住み心地や暮らしの工夫などをご確認下さい。



日時: 10月19日(日) 9:00 ~ 15:30

集合場所: いわき市某所(後日連絡します。)

費用: 大人(中学生以上)1,000円/人(昼食代含む)

子供(中学生未満) 500円/人(昼食代含む)

申込み多数の場合は、先着5組様までとさせていただきます。

お施主様のご厚意により見学をさせていただきます。見学に際してはマナーをお守りください。運行行程は いわき(9:00) 浪江(10:30 ~ 11:30) 夜ノ森(12:00 ~ 14:00) いわき(15:30) の予定です。お申込み、お問い合わせは田中建設工業㈱までお願いします。

OMソーラー活用のポイント(4)

今回はお湯採りについて確認したいと思います。お湯採りのできるタイプのOMソーラーのお宅では、春から秋にかけてお湯が作れます。おそらく皆さん「お湯が採れそうな天候の時に湯採りスイッチを入れる」という程度で終わっているのではないのでしょうか。そういう方はもう少し踏み込んで、さらに省エネ運転に挑戦してみてください。

具体的には、下図のような表示の出るリモコンをお使いの場合給湯使用時に、利用率メーターが100%になるまで温度設定を下げてみてください。その温度で不具合がなければ、運転スイッチを「切」にして使用してみましょ。利用率メーターが100%になった時の設定温度が、ほぼお湯採りでできたお湯の温度です。運転スイッチ「入」にしても、給湯機で燃焼させずにお湯を使うことができます。

詳しくは、お手元の「太陽熱温水器接続ユニット 取扱説明書」をよく読んでご使用ください。

画面が白いタイプのリモコン

太陽熱温水器に接続しているときの表示

太陽熱温水器で沸いているお湯のみで使えるときの表示

画面が黒いタイプのリモコン

太陽熱温水器に接続しているときの表示

太陽熱温水器で沸いているお湯のみで使えるときの表示

今年から紙面をA4両面に変更させて頂きました。従来は、これから住宅建築を考えている方向けの内容になっていましたが、今後は、既にお住まいの方への情報を追加して、より多くの方に読んでいただけるよう内容を充実して参りたいと思います。季節感、時事感のある記事を織り交ぜて、編集人やスタッフの気になる情報を発信していきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願い致します。